

松本市教育研修センターだより

No.12 令和5年3月20日

「松本市教職員研修計画」が策定されました ～ 「すべての子どもと教師のゆたかな学び」をめざして ～

松本市では、令和3年に中核市に移行し、独自の教職員研修を実施することができるようになりました。これを受け、令和4年4月に「教育研修センター」を設置、松本市の教職員研修のあり方を検討し、教職員研修計画の策定をすすめてまいりました。この度、2月の定例教育委員会で正式に承認され、ここに「松本市教職員研修計画」が策定されました。いよいよ4月からスタートする松本市の独自研修の特色を以下に紹介します。

「子どもが主人公」多様性・創造性・主体性を育む学びを目指します

★研修計画を策定するにあたって、最も大切にしたのは、松本市教育大綱の基本理念「子どもが主人公 学都松本のシンカ」です。この理念の上に立ち、子どもの「多様性・創造性・主体性」を育む教育の実現を願い、目指す教師像や研修の目的・重点を明確化し、具体的な研修を位置付けました。

松本市の特色や教育課題に即した研修を実施します

★豊かな自然や文化にあふれ、学びの資源に恵まれた松本。その松本の特色を生かした授業づくりや、デジタルメディアとのかかわり方等、現代的な課題を子どもたちとともに考えていく教育を支える研修を工夫し、実施します。

まつもと学研修 デジタル・シティズンシップ教育研修 等

先生方のニーズに応じる柔軟な研修を工夫します。

★研修の構築に当たっては、教育現場の先生方のニーズや利便性を考慮し、内容や時間設定を決めだしています。

例えば、多くの研修を、午後の授業後に参加いただけるよう、15:00以降のスタートとしました。また、授業づくり講座やICT活用、特別支援教育等、要望が高い分野の講座を充実させています。

長野県教育委員会との連携により充実した研修を実施します

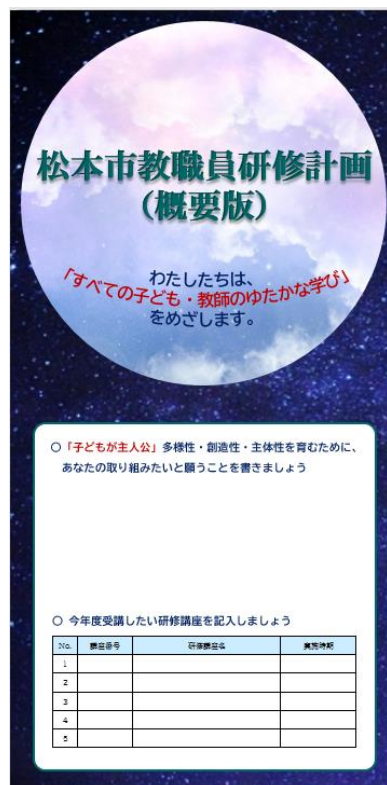
★初任研やキャリアアップ研修、職務研修等については、長野県総合教育センターに隣接する松本市の立地を生かし、県が実施する研修に参加いただきます。また、教科等の希望研修については、同センターが提供する研修メニューの中から選んで参加することも可能です。

←「概要版」もご利用ください

本研修計画の目標や重点、講座一覧をコンパクトに凝縮した「概要版」も用意いたしました。ぜひご利用ください。

松本市教職員研修計画は松本市HPにも掲載しています。

右のQRコードからご利用ください。



○「子どもが主人公」多様性・創造性・主体性を育むために、あなたの取り組みたいと思うことを書きましょう

○今年度受講したい研修講座を記入しよう

No.	講座番号	研修講座名	実施時期
1			
2			
3			
4			
5			



令和4年度 【訪問型】特別支援教育研修のまとめ ～ 学びを広げ、学校の力に ～

県立特別支援学校の協力をいただき、令和4年度の新規の取組として実施した「訪問型特別支援教育研修」が第1期を終了しました。この研修は「**学校全体としてインクルーシブな教育環境を充実させた**い」という課題意識を共有した学校が、特別支援学校の相談担当の先生の訪問による支援（通常学級の参観・助言や、教職員全体への研修）を受けながら実践を進めることで、当該校の**先生方の子ども観・指導観が深まり、多様な子どもたちを包み込むインクルーシブな環境を実現する学校力が高まる**ことを目指しています。研修実施校（10校）では、それぞれの課題に応じた形で研修を進めていただきましたが、このたび、1年間の研修の歩みや成果、次年度に向けての課題を報告書としてとりまとめていただきました。また、それらを先生方で共有する「まとめの会」を各校で支援の先生とともに実施いただきました。それらの一端をここでご紹介し、「**学び**」を全校に広げ「**学校の力**」としていった取組から学び合いたいと思います。

開明小学校では訪問時にいただいたアドバイス「**学年全体の活動を行うこと**」を3学年の先生方が意識して実施した結果、「**みんなで子どもに関わる機会が増えた**」「**学年の約束が全クラスに伝わるようになった**」という成果を実感しました。これを学校全体で共有し、他学年でも同様の取組が広がりました。

また、「困り感を抱える児童が多くいる場合」の授業づくりの**手立てを活かした全校研究授業**を実施し、「**児童が自ら考え動いたり、互いに教え合ったり、自分から「困り」を伝えることができる姿**」を実感し、その手立てや考え方のよさを全校で確かめ合いました。

さらに、授業参観を重ねる中で指摘された「（問題行動等は目立たないが）**自己表出が弱い児童**」が、学年が上がるにつれ登校渋り等になるケースが多いことから、このような**子どもたちに目を向け、必要な支援を実施する研修**を実施し、全校で大切に取組む動きを生み出しました。



女鳥羽中学校では、7月に全校の先生を対象に「**日常の授業の中の特別支援教育の視点を共有する研修**」を行いました。校長先生からは、日常の授業の中に「価値」「発問の意味」「良さ」がある事を共有できる場として**コンサルテーションの意味付け**が語られました。

その後、先生方が「**キーワードは、生徒の視点で考える。誰のための、何のための支援か。**」を意識して実践し、**より実態をとらえた指導につながった。**」といった声が寄せられました。

1月には、若手の先生方へのコンサルテーションを実施、**先生方自身が、自分の取組の成果と課題を整理し、生徒がよりよく学び合う授業づくりへの手がかりをつかみ、これからの実践への意欲を高める**機会となりました。3月のまとめの会では**3人の先生方の学びを共有し、コンサルテーションに立ち会った教頭先生からもその有効性が伝えられました。**

令和5年度の松本市の教職員研修がスタートします！

いよいよ4月から、新体制による松本市の教職員研修がスタートします。参加申込は4月24日を第一段階の締切りとしています。ぜひ、「研修計画」をご覧ください、奮ってご参加ください。

4月実施の希望研修は以下の通りです。（1週間前までにお申し込みください）

4/17 まつもと講師塾 4/20 新任教務主任研修（※新任者は必修）

4/21 タブレット端末活用研修Ⅰ 4/25 まつもと学研修1 4/27 理科授業づくり研修